

第3回那覇市社会福祉法人等施設連絡会（真和志地区）のまとめ

2020年9月24日（木）午後1時30分～3時
那覇市母子寡婦福祉センター

構成施設 おきなわ共生会 生活相談員 上原哲也
介護支援専門員仲西チエミ
医療法人 城南会 濱川尚志（欠席）
彩風の杜なは 係長 国吉俊祐
乙羽会 施設長 玉城正史
繁多川公民館館長 南信乃介
日本赤十字社沖縄県支部事業推進課長池原栄作
社協 常務 宮城哲哉
局長 新垣佳子
CSW 仲程大輔 山城博子 阿嘉宗治（駐車場）
垣花愛（地区説明 受付）
上原かおり（写真）
担当 山城章



- 1 各法人や役職員間で、「地域における公益的な取り組み」への共通理解を図る
- 2 各法人が、「地域を理解し、地域とつながる」という意識の醸成
- 3 社協とこれまで以上に、連携協働を意識する。
- 4 社会福祉法人等施設が向き合っている地域生活の課題を地域全体で共有

社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会
地域福祉部主任大城利公氏

繁多川公民館（取り組んでいること）

- ・子どもの場所→NPOと連携 ご飯を一緒に作る
 - ・包括と連携してワークショップ開催・実態調査→
 - ・繁多川シェアマーケット60名が参加
- 家の前に不要な物を出し合って分け合う
→収益から活動に。
お金やシェアする物資がなければ、大豆の選別などの軽作業。
- ・フードドライブから子供たちへ支援の輪を（課題）
 - ・繁多川公民館まで物資を取りに来れない方へ、身近な拠点があれば。
 - ・真和志エリア全体を目標として活動したい。



特定非営利活動法人1万人の井戸端会議
繁多川公民館館長 南信乃介氏
性別年齢を問わず、社会教育の視点で地域づくりを進めている。地域文化と歴史を掘り起し誇りと生きがいを高めながら、世代を結びつけることを得意としている。その地域力で1万人規模の生活圈で教育や福祉の課題を解決するしくみづくりを行う。

意見交換

城南会

- ・ 認知症を理解するための講話・リハビリテーションについての話、認知症に関する専門講話などの取組
- ・ 地域おそうじ隊（小禄みなみ診療所）
- ・ 買い物支援
（小禄みなみ診療所デイさつき荘）
- ・ 認知症カフェ（小規模デイ識名・小規模momo）
- ・ つどいの場の提供
（小規模momo・アビタン・小規模はんたがわ）
- ・ 認知症サポーター養成講座（キヤラバンメイト）
- ・ セルフトレーニンググループ設置



医療法人城南会 管理者 濱川尚志氏

城南会という法人名は、平成元年に開設した識名診療所と平成6年開設の小禄みなみ診療所が首里城の南に位置するところから付けました。20年後には那覇市広域で医療・介護を担いたいという願望もこめていました。

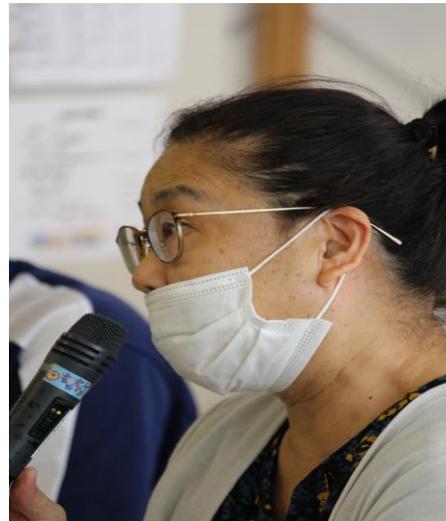
業務内容 内科・精神科・リハビリテーション科・心療内科・重度認知症デイケア・デイサービス・介護医療院通所リハビリ・グループホーム・小規模多機能型居宅介護、居宅支援センター・地域包括支援センター

沖縄共生会

- ・ 地域で祭りを開催。地域のボランティアさんも協力
- ・ 保育園の子供たちと重度の利用者と交流を考えている。
- ・ ボランティアがいれば、重度の車いすの方の外出（海辺の散策等）の希望を叶えたい。
- ・ **子どもたちの福祉活動に協力したい。**

社会福祉法人おきなわ共生会
生活相談員 上原哲也氏
介護支援専門員 仲西チエミ氏

小規模、地域密着型の特別養護老人ホーム和（なごみ）定員29名 重度型入居施設で、医療機関と専門機関が連携し、最後まで安心して暮らせる環境とご家族とサービスの在り方を一緒に考え提供させていただきます。



(日本赤十字社沖縄県支部)

・ **救急法講習、防災に関する講習等の計画があれば、ご連絡ください。**

- ・ 地域では、防災セミナー・防災教育を学校や企業等へ実施
- ・ 災害時高齢者支援講習の実施
- ・ 地域赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成、活動推進

日本赤十字社沖縄県支部

事業推進課長 池原栄作氏

日本赤十字社の活動は、医療事業、災害援護活動、血液事業、看護師養成、救急法講習、ボランティア、社会福祉事業と幅広く多岐にわたる。沖縄県支部では、特養、児童館、老人憩の家といった那覇市の指定管理施設安謝複合施設を運営している。





社会福祉法人沖縄中央福祉会彩風の杜なは
係長 國吉俊祐氏

沖縄中央療護園を起点に、障害福祉事業・介護事業を宜野湾市、那覇市と拡げている。那覇市では障害福祉サービスとして、生活介護センター彩風の杜なは定員20名、介護事業として通所介護センター・有料老人ホーム彩風の杜なはを運営している。

(沖縄中央福祉会)

- ・ 地域との関わりの機会が少ない
- ・ 台風時災害等の独居世帯への訪問介護が不可。
→那覇市と協定を結び、台風時に障がい独居の方の支援に入った。
- ・ 台風時の避難受け入れをしている。
- ・ 地域の方へ正月におせち料理を提供出来たら。
- ・ 施設のホールを開放、リハスタッフによる介護予防も可能。
- ・ ボランティア活動として清掃活動に参加したい。情報が欲しい。
- ・ 地域のクリーンアップ大作戦を那覇市でも。
- ・ **地域の子供たちとの交流も考えている。**

- (乙羽会) グリーンハウスを各地域で展開
- ・ 薬膳中医薬膳師が薬膳食を提供している。
 - ・ 職員不足→インドネシアから受け入れ。
 - ・ グリーンハウス国場では、災害時の避難所として開放。
 - ・ 児童園を18歳で退所した子どもたちへ、次の夢をつかめるような奨学生制度を設けたい。
 - ・ **子どもたちの福祉体験は可能**

社会福祉法人乙羽会
施設長 玉城正史氏

社会福祉法人 乙羽会は、沖縄の今帰仁村で、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護（予防）事業、居宅介護支援事業、デイサービス、小規模多機能型施設 SHIGERUHOUSEなどのサービスをご提供しています。体に優しい食事 心が温まる食事 薬膳料理にも取り組んでいます。

○那覇市国場にあるグリーンハウス国場地域密着型特別養護老人ホーム定員29名
短期入所サービス定員22名





C S Wの説明
意見交換進行

那覇市社協地域福祉課統括主任
真和志地区 C S W

仲程大輔
山城博子

まとめ 社協のCSWの所見

1. 外国籍の方のボランティア登録で生きがいづくりにも貢献できることが期待される。
2. 薬膳食の活用と、施設の四季折々の食事を民生委員などと繋がり必要な方へ届けられたらありがたい。
3. 与えるだけの支援ではなく、出番を創出する仕組みが大切
4. 地域活動の参加は地域にとって待ち望んでいる。是非とも地域との連携の調整に努めたい。
5. 担い手の問題は深刻だが、明日の沖縄の福祉を担う介護人材育成のみでなく、福祉教育の場づくりとしても、施設の人の関りは重要であることが期待されている。